

# No. 1254

## 惨！ 激震のツメ跡

### — 伊豆大島近海の地震 —

1月14日、正午すぎ、伊豆大島沖でマグニチュード7の地震が発生、大島、横浜で震度5、東京で4、全列島が揺れた。静岡県伊豆では山崩、落石が相次ぎ被害が大きくなった。中でも静岡県賀茂郡河津町見高、入谷では地震の直後、通称大池山が高さ300メートルに渡り崩れ、4軒がのまれ、7人が生き埋めとなった。県ではただちに自衛隊、警察、地元消防団の応援を求め、救出作業にあたった。しかし、流れ出た大量の土砂のため、救出作業は困難をきわめ、10日たった今もまだ2遺体が埋まったままだ。震源地に近い稲取では鉄骨のドライブインがペシャンコにつぶれ、地震のすごさを物語っていた。

一方、田方郡天城湯ヶ島町では中外鉱業持越鉱業所の鉱さい堆積場の堤が決壊し、シアン化合物が流出し、下流の狩野川全域にひろがり、同郡、修繕寺町、伊豆長岡は上水道をストップ、不安を一層つのらせた。政府はただちに対策本部を設置、現地をおとづれ、原因究明にあたった。

地震国日本は、関東大震災をはじめ、これまで幾度かの大地震を体験してきた。戦後だけでもS21年、南海地震(死者1432人) S23年、福井地震(死者3895人)、S27年、十勝沖地震(死者23人)、S39年、新潟地震(死者26人)、S43年、十勝沖地震(死者52人)等がある。さらに東海沖大地震説がささやかれる伊豆半島ではS49年、起きたばかりだ。

今人々の努力で町は復興した。しかし、亡くなった人々は帰ってこないし、悲しみは消え去ることはない。休むことなく活動をくり返す大自然。揺れる大地。常に地震に対する用心が大事だ。死者23人、不明2人(1月23日現在)、被害総額185億円、地震のおそろしさを改めて思い知らされた。が、大自然の底知れぬ力に、おののいているだけでは被害は更に大きくなるだけだろう。